

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験国語 出題意図

〔大問1〕論理的文章 出題の意図

「ケア」の本質に関する内容について出題した。文章にはディスカッションの様子を表す部分が含まれており、それらを含む文章全体が指し示す内容、筆者のいう「ホスピタブルな想像力」「無条件の肯定」という表現などについて理解したうえで、論理的文章を読み解く力を問うものである。

〔大問2〕文学的文章（近代以降の文章）出題の意図

「言葉」の本質に関わる内容について出題した。文章中の抽象的表現「”正しい”言葉」や「空洞」の意味を文脈に即して理解したうえで、作品の主題を読み解く力を問うものである。また、作者の対談集と併せて出題することで、文学的文章の虚構性や作品設定の理解を問うものである。

〔大問3〕

・選択問題A（現代文）

社会における概念と現実の関係に関する内容について出題した。文章の指し示す内容、「幼さ」の歴史性と変遷に対する理解と介護、とりわけ「ヤングケアラー」の内容を理解したうえで、論理的文章を的確に読み解く力を問うものである。

・選択問題B（古文）

室町時代の中世軍記物語より出題した。本文の古典表現は、地域的にも広がりを見せているもので、古語の意味の把握、文法事項の確認、古典文の文章内容理解、本文の歴史的経緯（注釈あり）など、古典を読解する上で必要な事柄を問うている。また、文章には本文についてディスカッションする部分も含まれている。

・選択問題C（古文および「国語学習の基礎となる事項」）

古文では、鎌倉時代の中世軍記物語より出題した。本文からは古典表現の広がりを見ることができ、基本的な文法事項の確認や、文章内容理解など、古典を理解する上で基礎的な事項を問うている。古文以外にも、容易な漢文句法、日本文学史における表現技法的な事項も扱い、「国語学習の基礎となる事項」を意識して問題を作成している。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験英語 出題意図

〔大問Ⅰ〕

時事的な内容の英語の長文より指示内容を適切に読み解く能力を問う。

〔大問ⅡA〕

文章の内容や背景知識を理解し、選択肢の中から最も適切なものを文脈に沿って選ぶ力を問う。

〔大問ⅡB〕

文章の内容と一致する語彙を選ばせて理解力と語彙力を問う。

〔大問Ⅲ〕

会話の流れや内容理解を下敷きに適切な表現を見抜く力を問う。

〔大問Ⅳ〕

時制・成句・語法に焦点を当てて基本的な文法力を問う。

〔大問Ⅴ〕

決まり文句の理解を踏まえ基本的な英文作成力を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験英語(専総) 出題意図

実業高校出身の受験生を対象に、「英語コミュニケーションⅠ」で扱われる英語力を基準とし、語彙力や内容理解力に重点をおき、英語の基礎的運用能力の資質を評価する。

〔大問Ⅰ〕

文法（時制・仮定法・前置詞・接続詞）、語彙の文脈的な適切性、動詞の語法や句動詞などを空欄補充形式で問うことで、英文の構造理解と自然な語感を測っている。

〔大問Ⅱ〕

日本語から英語を正しく組み立てる並べ替え問題を通して、語順・文型・関係詞・比較表現・動詞の目的語構造などを文レベルで正確に処理する力を確認している。

〔大問Ⅲ〕

身近な題材を通して、会話文の内容理解を図るため、適切な表現を選択できるかを把握とともに、文脈から推測できる適切な事柄についても評価する。

〔大問Ⅳ〕

大問 IV-A は、時事問題について書かれた英文についての理解度、そして著者の意図を正確に把握しているかを評価する。総合的な英語処理力と同時に推測力・予測力が必要となる。大問 IV-B は英単語（同義語）の知識と、文中から意味を推測する力を確認している。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験歴史総合 出題意図

〔大問Ⅰ〕

貨幣をテーマとした生徒の会話文をとおして、今日の私たちの生活と歴史のつながりを想起させるとともに、関連する「歴史総合」の知識を問う。

〔大問Ⅱ〕

アメリカ合衆国の独立宣言を題材として、アメリカの国内の状況および独立の影響をうけた国際情勢についての知識を問う。

〔大問Ⅲ〕

日比谷焼き討ち事件の様子を描いた画報をもとに、日露戦争期の日本の政治・社会・経済および国際情勢についての知識と思考力・判断力・表現力を問う。

〔大問Ⅳ〕

本問は20世紀初頭のロシア革命とその後の社会主义運動や労働運動の国際的な広がりを題材として、この時期の国際秩序の変化や大衆化についての知識、思考力・判断力・表現力を問うことを意図している。

〔大問Ⅴ〕

本問はアジア・太平洋戦争の経緯を題材として、この戦争の開戦経緯、この戦争が日本や沖縄に与えた影響、ヨーロッパ戦線の展開との関係についての知識、思考力・判断力・表現力を問うことを意図している。

〔大問Ⅵ〕

冷戦下での国際秩序の再編に関する生徒の会話文を基に、関連する「歴史総合」の知識を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験世界史探究 出題意図

〔大問I〕

本問は、学習指導要領の「A 世界史へのまなざし」における「(2)日常生活から見る世界の歴史」で「身の回りの諸事象」として例示されている教育を前提として、古代・中世における世界各地の教育機関を題材として、それぞれの教育機関が設置された時代や社会に関する知識、及び思考力・判断力・表現力を問うことを意図している。

〔大問II〕

本問は、学習指導要領の「B 諸地域の歴史的特質の形成」における「(3)諸地域の歴史的特質」の小項目(イ)で挙げられている「南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象」を前提として、1～2世紀のインドの王朝を題材として、その王朝の特徴や周辺他地域との関係についての知識、思考力、資料読解力を問うことを意図している。

〔大問III〕

アジアとヨーロッパを結ぶ海上交易の展開を通じて、近世初期のグローバル化の始動を理解させる問題。地域間交流の多層的構造と、その背後にある経済・宗教的要因を総合的に把握する力を問う。

〔大問IV〕

モンゴル帝国の形成と東西交流の拡大を通じて、ユーラシア規模の歴史的統合過程を理解させる問題。政治的支配構造や民族的多様性をふまえ、広域史的視野で歴史を捉える思考力を問う。

〔大問V〕

18世紀後半からのヨーロッパ世界について、フランス革命を中心に社会構造の変化を理解しているか問う。他国との相互関係を意識しながらフランス革命の推移や意義を把握できているか確認する。

〔大問VI〕

イギリスの産業革命の世界史的な視点からの把握を問う。提示した図から産業革命がもたらした生産構造の変化を読み取った上で、短文でその変化を記述することができるか確認する。

〔大問VII〕

現在も続くパレスチナをめぐる問題について、歴史的経緯を踏まえて把握する力を問う。第二次世界大戦後のこの地域の情勢だけでなく、第一次大戦中からのヨーロッパ諸国の動向と関連づけてこの問題をとらえることができているか確認する。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験日本史探究 出題意図

〔大問I〕

古代の歴史事象について、教科書の理解を踏まえ、史料を読解し適切に説明することができるかを問う。

〔大問II〕

先史時代の歴史事象について、教科書の理解度を問う。

〔大問III〕

古代から現代までの歴史上登場する人物や出来事について教科書の理解を踏まえて、適切に前後関係などを把握することができるかを問う。

〔大問IV〕

近代の政治・外交・国際関係について、教科書の理解を踏まえ、史料を読解し適切に説明することができるかを問う。

〔大問V〕

近世の歴史事象について、教科書の理解度を問う。

〔大問VI〕

古代から現代までの文化史を中心に、人物、出来事等の理解度を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験地理総合 出題意図

〔大問1〕

地形図を基にしたハザードマップを読み解くとともに、自然地理に関する基礎知識を問う。

〔大問2〕

貿易の特徴や政策、航空交通と貿易、国際的な観光流動など、国境の越えた結びつきに関する基礎知識を問う。

〔大問3〕

サハラ以南の資源依存が高い国々における経済的な特色と最近の動向に関する基礎的知識を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験地理探究 出題意図

〔大問1〕

エネルギー資源に関する基礎知識を問うとともに、エネルギー資源の生産・消費・貿易の図表を読み解くことができるかを問う。

〔大問2〕

合計特殊出生率や穀物の自給率等の図表を読み解くとともに、人口問題や食糧問題などの現代社会の諸課題に関する基礎知識を問う。

〔大問3〕

オーストラリアの農業における地域的特色に関する基本的知識を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験公共 出題意図

〔大問I〕

西洋の近代政治思想、特に社会契約説に関する知識を総合的に問う。

〔大問II〕

日本の政治、法律、そして現代社会に関する基礎的な知識がどれだけ身についているかを総合的に測る。

〔大問III〕

日本の防衛戦略における基本的な原則である専守防衛の概念を理解しているかを問う。

〔大問IV〕

現代の企業経営と経済活動に関する基礎的な概念を、幅広くかつ正確に理解しているかを測る。

〔大問V〕

基礎的な経済思想、現代社会の経済・環境問題、金融・財政政策の基本原理を正確に理解しているかを測る。

〔大問VI〕

問1～9は心理学、倫理・哲学、社会学の分野の基礎知識を幅広くかつ正確に理解しているかを、問10は、現代社会の諸問題に関心をもっているかを確認する。

〔大問VII〕

宗教対立が紛争の原因になっていることから、そのことへの問題関心および三大世界宗教に関する基礎的な知識を正確に有しているかを確認する。

〔大問VIII〕

現代の民主政治における世論とメディアの役割、特徴、問題点を、主要な専門用語を用いて体系的に理解しているかを測る。

〔大問IX〕

現代の日本社会が直面している多文化共生や人権に関わる社会問題について、具体的な法律や概念の知識を確認する。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験政治経済 出題意図

〔大問I〕

現代の国際政治について、国際裁判制度や第二次世界大戦後から冷戦の時代などに関する理解度を問う。

〔大問II〕

三権分立の立法権と行政権から紐解き、教科書の内容を踏まえつつ、日本国憲法の条文に関する正確な文言の知識を問う。

〔大問III〕

国連総会や日米安全保障条約に加えて、国際人権規約などについて、基本的な概念を把握できているかの能力を測る。

〔大問IV〕

3つの経済主体(家計・政府・企業)が担う役割やその相互関係について理解度を問う。

〔大問V〕

地域的経済統合の趣旨・内容と加盟国に関する知識を問う。

〔大問VI〕

主な経済思想に関する理解度を問う。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験倫理 出題意図

〔大問I〕

14世紀から16世紀にかけてヨーロッパで展開されたルネサンスおよび宗教改革の歴史的背景と主な思想家・芸術家・政治家の思想・業績、そして近代ヨーロッパ社会の形成においてこれらの思潮・運動が果たした役割の理解を問うものである。

〔大問II〕

第二次世界大戦前後における、ドイツの哲学者たち、すなわちフッサール、ヤスパー、ハイデガー、アレントの思想について、基本的な知識や意義の理解を問うものである。

〔大問III〕

明治中頃から大正にかけて活躍した文学者たちの思想を取り上げ、彼らが、封建的な日本社会の伝統と対峙しながら近代的な自我を個人の内面において確立しようと模索する過程の理解を問うている。

〔大問IV〕

倫理の教科書に掲載されている現代社会の課題やトピックとして取り上げられる時事的な用語を題材とし、生徒が社会の出来事に关心を持ち、倫理で学んだ知識を現実の社会問題と結び付けて理解できているかを問うことを目的としている。

〔大問V〕

青年期の発達課題である「自我同一性の確立」について正しく説明できるかを問うものである。同時に、学んだ知識を自分の言葉で要点を整理し、簡潔で論理的に表現する力、すなわち文章構成力や記述力を測ることも目的としている。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験数学I・数学A 出題意図

〔大問1〕

二次関数と関数のグラフを理解しているかを問う問題

〔大問2〕

因数分解、平方根、一次不等式の基本を理解しているかを問う問題

〔大問3〕

三角形の定理と三角形の外接円の基本を理解しているかを問う問題

〔大問4〕

重複組合せと条件付き確率を理解しているかを問う問題

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験リスニング 出題意図

「コミュニケーション英語I」「コミュニケーション英語II」「英語表現I」のレベルを網羅するよう難易度に幅を持たせるため、大問ごとに難易度が上がるような構成とした。それに合わせて、リスニングの内容も文レベル、会話、長めのパッセージを聞き取る能力を測定するように配列している。高等学校の教科書で扱われるような日常的な話題から社会的な問題に至るまでトピックのバリエーションにも配慮した。各セクションのねらいや意図は以下の通りである。

セクションA: 短文を聞いて同じ意味の文を選ぶ

短文であるが、自然な速さで放送されるために基本的な語彙力と英語音声の聞き取り能力が試される

セクションB: 質問に対する正しい応えを選ぶ

セクションA同様短文であるが、自然な速さで放送されるため、基本的な語彙力と英語音声の聞き取り能力に加え、会話を成立させるコミュニケーション能力が試される

セクションC: 会話を聞いてその内容に関する質問に対する正しい答を選ぶ

会話の内容を理解するための談話能力が試されるため、中級レベルの語彙力と聞き取り能力が要求される

セクションD: 長めのパッセージを聞き、その内容に関する質問に対する正しい答を選ぶ

聞き取る量が多いため難易度が最も高い。高度な語彙力・聞き取り能力に加え、様々なトピックに関する背景知識も要求される。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験生物基礎 出題意図

〔大問Ⅰ〕

生物の共通性と差異を、それが実現された進化の道筋と関連付けて捉える理解を問う出題である。

〔大問Ⅱ〕

生物の細胞内におけるエネルギー代謝に関する生化学の理解を問う出題である。

〔大問Ⅲ〕

ヒトの体内における情報伝達と、それによって制御を受ける生理学現象の理解を問う出題である。

〔大問Ⅳ〕

生物間相互作用の観点から生態系のバランスについての理解と思考力を問う出題である。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験琉球・沖縄史 出題意図

〔大問1〕

生徒の会話文を基に、今日の沖縄の経済社会が沖縄や世界の歴史とつながっていることを想起させるとともに、琉球・沖縄の歴史や自然、文化についての知識を問う内容となっている。

〔大問2〕

琉球・沖縄に関する基礎的な考古学的知見に加え、主に琉球国の時代の歴史的出来事や当時の社会について、基本的な理解を有しているかを問う内容となっている。

〔大問3〕

1879年の廃琉置県から1945年の沖縄戦までの歴史的経緯について大まかな流れを把握しているか、歴史的な出来事についての基本的な理解があるかについて問う内容となっている。

〔大問4〕

沖縄戦体験の継承という近現代史をまたぐテーマについて、博物館展示の変遷についての写真資料から時代背景を読み解けるか、沖縄戦後史についての基本的な理解があるかを問う内容となっている。

令和7(2025)年度 沖縄国際大学一般選抜試験マーケティング 出題意図

〔大問1〕

大量仕入と当用仕入の比較を通じて、仕入方法の特徴と取引条件の違いを理解しているかを問う。

〔大問2〕

マーケティングの基本概念（ベネフィット、ニーズ・ウォンツ、製品ミックス、ブランド機能、ブランド・ロイヤルティ等）の体系的理解を問う。

〔大問3〕

サービスの4つの特性とS-Dロジックを通じて、モノとサービスの違いおよび価値共創の視点を理解しているかを問う。

〔大問4〕

サービス・プロフィット・チェーンについて、従業員満足と顧客満足および利益の連鎖的関係を理解しているかを問う。

〔大問5〕

サブスクリプションやダイナミック・プライシングといった現代的価格政策の仕組みを理解しているかを問う。

〔大問6〕

マーケティング基礎理論・枠組み（概念定義、分析フレーム、消費者行動、調査法、成長戦略等）について、記述の正誤を見抜き、誤りの理由を根拠とともに指摘する力を問う。

〔大問7〕

マーケティング基礎理論・枠組み（VRIO、SDGs、PDCA、ファイブ・フォーシズ、現地化、3C、PPM、社会的マーケティング志向、認知的不協和、イノベーション普及等）を丸暗記に頼らず、与えられた事例に適切に適用・応用できる力を問う。

〔大問8〕

受験生がビジネス分野に必要な力を有しているかを測定する。国内外のビジネス環境で生起する事象に対し、自ら情報を収集・整理・分析する能力、ならびに提示課題を的確に議論する理解力・表現力を評価する。